

縁をつなぎ
安心をとどけるお寺

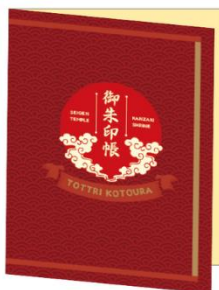
清元院だより

第22号

清元院本堂の天井絵

「龍溪図」作者：玉雲斎

2024 琴浦
「開運昇龍めぐり」
特製御朱印帳



【琴浦「開運昇龍めぐり」】

本堂の天井を見上げてみてください。一匹の龍がいます。現在の本堂ができた180年ほどの江戸時代後期に描かれたものです。墨一色の水墨画で、「玉雲斎」（ぎよくんさい）作：「龍溪図」です。落款（作者の朱印）は「一心・不乱」と押印され、この絵を描いた時の作者の心境が刻まれています。

本堂は住職が仏に代わって仏法を説き示す場としてお寺の中で最も重要な場所、龍はそこを守護する役割を果たします。また、龍が雲を呼び雨を降らすといわれることから、本堂に集まった人々に、仏法の雨（法雨）が降り注ぎますようにとの願いを込めて描かれています。

令和6年（2024）は、辰（たつ）年です。琴浦町では、神崎神社と清元院の2つの龍のエネルギーを受けて幸福な一年になるよう、「琴浦開運昇龍めぐり」と名付け、神崎神社と清元院の御朱印をとじる特製御朱印帳を作成しました。2つの龍にお参りして、エネルギーを授かり、よい一年のスタートにしましょう。

誌上法話⑫

以西ふるさとめぐり⑧

活動紹介⑦

声

イベント情報・お知らせ

発行：曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之
佛歴二五六六年 令和5年12月25日

誌上法話⑫

「脚下照顧」
きやつかしようこ

脚下照顧とは、自分の足下を顧みて照らすこと。

「私の身、私の心を、私自身で振り返り、私自身でよく点検し、物事を行いなさい」という禅の教えです。転じて「足下の

はきものをそろえましょう」と促す時にも使われます。

少し前、とても忙しくてバタバタした週がありました。

その週のある日、朝9時にお墓を拝みに行く約束がありました。でも私は、行事に向けての草取りが間に合わず、朝から慌てて除草剤をまいていました。行事に間に合わせなければと必死に作業していたら・・・すっかり墓拝みを忘れていたのです。約束から1時間後にお寺に電話があり、真つ青になりました。お墓で待つておられた方は、携帯電話を持っておられなくて、お墓で1時間待たせてしまったのです。

余裕のないスケジュールを自分で組んで、それに追われ、結局自分の首をしめて、人に迷惑を掛けることになってしまいました。全く自分の力量が見えていなかったのです。申し訳ない思いでずいぶん落ち込みました。それ以来、「本当にこの予定でできるのか？」と私の足下を見つめ、私自身と相談して予定を立てるようにしました。

もう一つ、自分で自分を点検するために、「はきものをそろえる」ことを改めて心掛けるようにしています。「はきものをそろえると 心もそろふ。心がそろふとはきものもそろふ」からです。

忙しくて余裕がないなと感じたら、そんな時こそ、ぜひ、はきものをそろえてみてください。きっと心が整い丁寧に日々を過ごすことができるはず。



以西ふるさとめぐり⑧「大熊 金毘羅灯籠」 ～鳥取県唯一のねじれ灯籠～

竿が90度ねじれている灯籠

大熊集落には、灯籠を支える竿が90度ねじれている大変珍しい灯籠があります。作られたのは天保4年6月（1833江戸末期）作者は「石工 山川村 治三郎」です。この灯籠について県立博物館に尋ねてみました。

【県立博物館への質問】

Q ①なぜねじれているの？どんな価値があるの？

Q ②台座の周りのたくさんくぼみは何？

Q ③金毘羅灯籠は、金毘羅さんに続く街道でもないのに、なぜ以西地区の集落ごとにあるの？

【回答】

A ①県内には他に例がなく大変珍しいものです。九州ではいくつか確認されています。通常この大きさの石灯籠に名を刻むことは少ないですが、ねじれた竿の製作に石工としての腕を発揮したので、銘を刻んだのかもしれない。なぜねじっているかは不明です。

A ②このくぼみは「盃状穴」といい、全国で見られますが、その意味は説明されていません。

・推測一…子供のままごと遊びでヨモギなどの草を穴に入れ、棒や石でついてすりつぶして遊んでいた。

・推測二…穴に油を入れ芯を付け、燈明に使われた。

・推測三…灯籠の周りで何かを念じ唱えながら、石で打つことによって穿たれた信仰の穴。

A ③「金毘羅講」が行われていた集落に作られたのではないのでしょうか。

大変貴重な灯籠です。ぜひ足を運んでみてください



活動紹介⑦

お寺体験

随時受け入れしています

清元院には、年間を通して、幼児から、小中高生、社会人、高齢者など様々な団体が、お寺体験を求めておいでになります。お寺の落ち着いた空間で心を整え、楽しみ、癒される活動は満足度が高く、大変好評です。みなさまどうぞ「お寺体験」においでください。帰る時はみんな笑顔です！



【プログラム例】

- 9:00 到着 本尊様にごあいさつ 読経
- 9:50 法話
- 10:10 坐禅（イス坐禅可）
- 10:30 書院で「古流・学問の庭」を眺めて休憩
【※茶菓の接待あり】
- 10:40 諸堂拝観
（天井絵、格子絵、組木、納骨堂）
- 11:10 写経・写仏・切り仏
（約40種類の中から1つ選んで取組む）
- 12:00 昼食（仕出し弁当）
【※茶菓の接待あり】
- 13:00 船上山散策（住職案内も可）

声こえ

今日はお話しをありがとうございました。とっても力になりました。病気のことも娘のことも、受け入れることで世界が変わったようにも思えます。もうひとつ、待つことから始まることもあるということが分かりました。もどかしいながらも待つ自分を楽しめたらと思います。

本当にありがとうございました。またタイミングが合う時にお寺に伺わせていただきます。

(お手紙)

先日はご祈禱していただきありがとうございます。本格的に丁寧に祈禱いただき本当に有り難かったです。紅茶とケーキのおもてなしも嬉しかったです。

ご祈禱の当日は、祈禱のインパクトが強かったので、なんと夢に清元院とご住職が出てきてくださいました。

またゆっくりおじゃましてお話を聞いていただきたいと思います。

(来山者)

当日の朝まで講演会があることを知りませんでした。学校からのお便りも出してくれない我が子ですが、楽しそうに学校に行っています。それでいいんだと思えるお話をしました。

我が子は運動に頑張っています。が、なかなか結果が出ずにいます。それでも毎日がんばって練習しています。我が子には「頑張り続ける力が、あなたの才能だよ」と言い続け励ましてきました。間違っていないかったな、これでいいんだなと思うことができました。

ありがとうございました。

(中学校講演会参加者)

慌しいこの頃でしたが、今回の坐禅の会に参加させていただいたて、心が新たになったようでした。感謝を忘れず過ごしたいと思います。

(出前坐禅会参加者)

一人で認知症の母の介護をしています。自分の心の内を話す人もなく、自分の将来も不安になることもあります。檀家でもなく、ご住職にお会いしたこともない私ですが、何度もお電話でお話を聞いていただくことで、何とか頑張れているのかもしれない。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(お手紙)

お知らせ & Events

2/15 涅槃会法要へどうぞ

■ 2月15日(木) 10時から

翌日は、お釈迦さまの命日です。お釈迦さまの残してくださった教えに感謝し、自分の生き方を振り返る日です。30分ほどで終わります。梅花講のご詠歌も聞けますよ。どうぞ皆様気軽においでください。

3/9 大般若祈祷法要 & 落語会

■ 3月9日(土) 10時から

「大般若法要」を行います。大般若経の功德と秋葉さんの力で、檀家や信徒のみなさんの安心と健康・諸願成就を祈禱する法要です。

■ 「落語会」 11時から (※無料)

上方落語「六代目桂文吾」師匠の高座です。

お楽しみください！

※落語だけの参加もOKです。



3/17 お地藏様づくり教室

大人気のイベントです。2部に分けて本堂をゆったり使って行います。

■ 3月17日(日)

■ 午前の部 9時半～

■ 午後の部 13時半～

■ 各20名限定

■ 参加費

一人2200円

※人気のイベントです。定員になり次第締め切りです。お早めに！



3/20 彼岸会塔婆供養

■ 3月20日(水) 春分の日

■ 9時～15時まで

供養したい方のお名前を塔婆にお書きし、住職と一緒にお経を挙げてご供養します。

※家族以外でも、あなたにとって大切な人、友人、恩師など、どなたのご供養でもたまわります。

何か気持ち伝えたい方は、ぜひおいでください。



◆ 塔婆一本千円

※終わったらお墓参りをして塔婆を立ててください。(お寺に立てるともできます)

3/24 はすとも 大募集

■ 3月24日(日)

■ 午後1時半から

ハスの蓮根を植え替ええます。50鉢あるので、住職一人では大変です。

そこで蓮友(はすとも)を募り、一緒に蓮を植え、育て、花を楽しみたいと思います。例年15名程度参加されます。お手伝いいただいた方には蓮根(花用)をおすそ分けします。(※汚れてもよい服装で)



4/7 「花まつり」に集合

お釈迦さまの誕生パーティーです。

■ 4月7日(日) 10時から

法要・紙芝居・ビンゴゲーム (※全員に景品あります！)

■ 「でこぼこしょうちゃん」のあそびうたコンサートも♡

■ お土産

・ 甘茶あめ

・ 花まつりサイダー

■ 終日

・ 甘茶飲み

・ 放題

・ 甘茶かけ



◆ 月例行事

◇ 写経写仏の会

・ 第1日曜 午後3時

※1月は都合により8日(月)

◇ 坐禅会

・ 第3水曜 午後7時30分

◇ お寺ヨガ

・ 第4水曜 午後7時30分

◆ 死の体験旅行

◇ 第5回 2月25日(日)

◇ 第6回 6月23日(日)

◇ 第7回 10月26日(土)

◇ 第8回 12月7日(土)

※各回先着8名

※受講料3千円

(清元院檀家は無料)

※いずれも14時開始

◆ 令和6年 年回表

一周忌 令和五年

三回忌 令和四年

七回忌 平成三十年

十三回忌 平成二十四年

十七回忌 平成二十年

二十五回忌 平成十二年

三十三回忌 平成四年

五十回忌 昭和五十年



清元院

住職 井上 英之

〒689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57

TEL 090-4923-8768 fax 0858-55-7064

メール inoter1@gmail.com

facebook : 井上英之 清元院

清元院 琴浦 検索



清元院 HP